

平成15年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
						採択年	総事業費	進捗率				
						目標年	用地費	進捗率				
湛水防除事業	4	城南地区	桑名市		<p>【全体事業概要】 排水機場の新設 1200×290ps×2台 （立軸斜流ポンプ） 1200×200kw×1台 （立軸斜流ポンプ）</p>	H5	2,919	68.4%	<p>平成14年度まで排水機場 1200×3台 平成15年度除塵設備・場内整備 平成16年以降自家発電機、旧機場・樋管取壊し、堤防復旧</p>	B / C = 1.09	<p>平成15年度で、除塵機の設置・場内整備工事が完了し、平成16年度から新設ポンプの稼働を予定している。</p>	<p>平成5年度に事業着手し、10年を経過して継続中の事業である。審査を行った結果、事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。ただし、湛水防除事業と地盤沈下対策事業を同時に行わなければならない特殊な事情を有する当地域においては、今後、農業振興地域の見直しをする際、浸水リスクを増加させないよう県及び市において行政として適切な対応を求めるものである。また、これまで過去5年間、多くの審査を行ってきたが説明資料の専門用語や事業者側にたった説明が多く見られた。このため、今後の委員会にあたっては、県民に理解しやすい表現に努めるよう求めるものである。</p>
					<p>【事業目的】 約1mに及ぶ地盤沈下により湛水被害が生じているため、営農を安定させる施設の設置が強く望まれている。このため、排水機を設置し、大規模湛水被害を未然に防ぐと共に、水田の高度利用の促進を図る。</p>	H18	-	-				
地盤沈下対策事業	5	城南地区	桑名市		<p>【全体事業概要】 用水路の改修 L=26,807m 揚水機場の新設 400×90kw×3台 （立軸斜流ポンプ） 排水路の改修 L=10,711m</p>	H5	3,465	68.7%	<p>平成14年度まで用水路 L=19,019m 揚水機 400×3台 排水路 L=6,184m 平成15年度用水路 L=2,200m 排水路 L=55m 平成16年度用水路 L=5,588m 排水路 L=4,472m</p>	B / C = 1.09	<p>平成15年度以降の残工事である用水路工L=7,788m 排水路工L=4,527mについて地元と一体となって事業の進捗に努め、事業高価が発揮できるよう進めていく。</p>	<p>平成5年度に事業着手し、10年を経過して継続中の事業である。再審査を行った結果、事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。ただし、費用対効果分析手法として事業費を更新効果とすることは一般に理解が得難い。したがって、今後は、県民への説明責任を果たす観点から経済効果を算定する手法を用いることが好ましいと考える。国関係機関にもこの部分の検討を求めるものである。また、これまで、過去5年間、多くの審査を行ってきたが説明資料の専門用語や事業者側にたった説明が多く見られた。このため、今後の委員会にあたっては、県民に理解しやすい表現に努めるよう求めるものである。</p>
					<p>【事業目的】 今日までに地盤沈下量が、0.3～1.2mの範囲で生じているため、水路の機能障害が発生し、営農の大きな障害となっている。このため本事業で、地盤沈下によって生じた用・排水路の機能障害を解消し、農業基盤の高度利用と農業経営の安定化を図る。</p>	H19	149	84.1%				

平成15年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
						採択年	総事業費	進捗率				
						目標年	用地費	進捗率				
海岸環境整備事業	6	島勝地区	海山町		<p>【全体事業概要】 離岸堤（潜堤） L=138m 養浜工 A=20,700 m² 堤防工（階段） L=79 m 道路工 L=250 m 付帯施設工（場内整備、ハウス等） 1式</p> <p>【事業目的】 農地保全に係る海岸地域において、国土保全と調和を図りつつ休養の場として、その利用に供するための海岸環境整備を行う。</p>	H 4	2,763	91.7%	<p>主な工事は完了し残る工事は、養浜砂の安定化対策工事。 平成14年度に離岸堤、養浜工がほぼ完成し防災効果は発現している。本年7月に海開き（供用開始）をし、県内外から多数の海水浴客が訪れている。</p> <p>熊野古道の世界遺産登録に向けて、集客交流の機運が盛り上がってきている。海山町では銚子川沿いに集客交流施設が近年整備されて、入り込み客が増加している。町では当事業で整備される海水浴場をこれらと連携されることによって、地域の活性化に繋げていきたいと考え、早期完了を望んでいる。</p>	B / C = 1 . 1 3 今年度の調査設計では、各種工法を比較検討し低コストで効果の大きい工法を採用する。	平成16年度事業完了を目標に事業を推進していく。	
						H 1 6	21	100.0%				
一般農道整備事業	7	玉城南部地区	玉城町		<p>【全体事業概要】 延長 2 . 9 5 k m 幅員 5 . 5 (7 . 0) m</p> <p>【事業目的】 広域農道サニ道路へ接続する幹線農道を整備し、流通経路の確保、農産物の生産コストの低減及び品質の向上による農業経営の安定と生活環境の改善、地域の活性化を図る。</p>	S 6 3	823	80.8%	<p>全体2 . 9 5 k mのうち、2 . 1 9 k mを完成している。</p> <p>事業推進の支障となるような周辺環境の変化はない。</p>	B / C = 1 . 4 1 他事業との調整により、残土処理費を低減するとともに、再生材を使用しコスト削減に努めている。	残る用地補償を今年度に終え、平成17年度完成供用を目指して事業を推進する。	<p>平成10年度に再評価対象事業として一度、審査を経た事業であり、その後5年を経過して継続中の事業である。 再評価の結果、7番から11番について事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 なお、今後ともより一層のコストの削減に努めるとともに、農道整備事業と農業振興との連携に努め早期に事業効果を発現されることを望むものである。</p>
						H 1 7	219	90.8%				

平成15年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					
						目標年	工事費	進捗率					
揮発油税財源身替農道整備事業	8	松阪多気地区	松阪市、多気町		【全体事業概要】 延長 2.1 km 幅員 6.0 (8.0) m	H 5	1,256	86.5%	全体 2.1 kmのうち、1.6 kmを完成している。	事業推進の支障となるような周辺環境の変化はない。	B / C = 1.67 残土近辺処理による処理費を低減するとともに、再生材を使用しコスト削減に努めている。	残る用地を早期に確保し、事業の早期完成供用を目指して事業を推進する。	平成5年度に事業着手し、10年を経過して継続中の事業である。 再評価の結果、7番から11番について事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 なお、今後ともより一層のコストの削減に努めるとともに、農道整備事業と農業振興との連携に努め早期に事業効果を発現されることを望むものである。
						H 1 8	231	87.4%					
ふるさと農道整備事業	9	南勢東部地区	南勢町		【全体事業概要】 延長 1.42 km 幅員 5.5 (9.0) m、歩道 2 m	H 5	1,510	71.4%	全体 1.42 kmのうち、1.22 kmを完成している。	事業推進の支障となるような周辺環境の変化はない。	B / C = 1.62 残土近辺処理による処理費を低減するとともに、再生材を使用しコスト削減に努めている。	残る用地を早期に確保し、事業の早期完成供用を目指して事業を推進する。	平成5年度に事業着手し、10年を経過して継続中の事業である。 再評価の結果、7番から11番について事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 なお、今後ともより一層のコストの削減に努めるとともに、農道整備事業と農業振興との連携に努め早期に事業効果を発現されることを望むものである。
						H 1 9	263	99.6%					

平成15年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
						採択年	総事業費	進捗率				
						目標年	工事費	進捗率				
ふるさと農道整備事業	10	南勢西部地区	南勢町		【全体事業概要】 延長 1.35 km 幅員 4.0 (5.0) m 【事業目的】 受益地内の農道を整備し、流通経路の確保、農産物の生産コストの低減及び品質の向上による農業経営の安定と農業集落排水処理施設や避難港へのアクセスなどの生活環境の改善、地域の活性化を図る。	H5	507	53.6%	事業推進の支障となるような周辺環境の変化はない。	B/C = 1.73 他事業との調整により、用地費を低減するとともに、再生材を使用しコスト縮減に努めている。	残る用地補償を今年度に終え、事業の早期完成供用を目指して事業を推進する。	平成5年度に事業着手し、10年を経過して継続中の事業である。 再評価の結果、7番から11番について事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 なお、今後ともより一層のコストの削減に努めるとともに、農道整備事業と農業振興との連携に努め早期に事業効果を発現されることを望むものである。
							492	52.2%				
						H19	15	93.3%				
ふるさと農道整備事業	11	青山地区	青山町		【全体事業概要】 延長 4.6 km 幅員 5.5 (7.0) m 【事業目的】 伊賀地域を回廊に結ぶ基幹農道（伊賀コリドー）の一部区間を整備し、流通経路の確保、農産物の生産コストの低減及び品質の向上による農業経営の安定と生活環境の改善、地域の活性化を図る。	H5	3,615	89.0%	事業推進の支障となるような周辺環境の変化はない。	B/C = 2.43 他事業との調整により、残土処理費を低減するとともに、再生材を使用や伐採木根枝を法面緑化に利用によりコスト縮減に努めている。	用地の確保も終えており、平成17年度完成供用を目指して事業を推進する。	平成5年度に事業着手し、10年を経過して継続中の事業である。 再評価の結果、7番から11番について事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 なお、今後ともより一層のコストの削減に努めるとともに、農道整備事業と農業振興との連携に努め早期に事業効果を発現されることを望むものである。
							3,099	87.3%				
						H17	516	100.0%				

平成15年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					
						目標年	工事費	進捗率					
港湾事業	26	鳥羽港港湾改修	鳥羽市		<p>【全体事業概要】</p> <p>防波堤（東） 260m 防波堤（北） 50m 浮棧橋（東） 4基 浮棧橋（中） 3基 臨港道路 3,430</p> <p>【事業目的】</p> <p>現在の鳥羽港佐田浜地区の利用船舶の混雑を解消し、船舶利用者等へのサービスの向上を図る。合わせて緑地等を整備により良好な港湾景観を創造するとともに憩いの場を提供する。</p>	H6	10,600	71.0%	<p>防波堤（東） 198m 防波堤（北） 47m 浮棧橋（東） 3基 浮棧橋（中） 2基 緑地 1,434㎡</p>	長期に渡る不況から、本事業の進捗が遅れているため、事業の終了年度を見直した。	B / C = 1.06	事業費の確保を図りながら、早期に事業効果の発現が出来るように努めてまいりたい。	
						H20	-	-					
海岸事業	27	的矢港（三ヶ所）港湾海岸	磯部町		<p>【全体事業概要】</p> <p>護岸（補強） L = 694.9m</p> <p>【事業目的】</p> <p>老朽化した海岸保全施設を改築し高潮災害から背後の資産を防護する</p>	S61	2,697	90.0%	護岸補強延長694.9mの内574.9mの整備が完了している。今後残延長120mを順次施行を行う予定	磯部町が東海地震に関する「地震防災対策強化地域」に指定された。	B / C = 8.32	引き続き事業の進捗をはかり早期効果の発現を目指す	昭和61年度に事業着手し、平成10年度に再評価対象事業として一度、審査を経た事業であり、その後5年を経過して継続中の事業である。再評価の結果、事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。ただし、次の点について意見を付するものである。一、海岸事業に限らず全ての公共施設・機能の維持管理について、ライフサイクルコストの観点から適切な管理が重要である。したがって、早急に持続的な施設維持管理の仕組みについて具体的に構築するよう検討されたい。一、事業を進めるにあたっては、時間とコストの管理をより積極的に行うための経済比較、代替案の立案を検討しその内容を明確にされたい。
						H18	-	-					

平成15年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
						採択年	総事業費	進捗率				
						目標年	工事費	進捗率				
海岸事業	28	安乗地区建設海岸	阿児町		【全体事業概要】 延長 600m 人工リーフ 3基 養浜 56,000m ³ 突堤工 1基 階段工 2基 斜路工 2基	S39	1,599	74.0%	人工リーフ1基の施行を終え、養浜施行のための仮設道路が完成した。 海岸に対する市民のニーズが多様化し、余暇志向や環境に対する関心が高まっている。阿児町が東海地震に関する「地震防災対策強化地域」に指定された。	B / C = 2 . 6 3	引き続き事業の進捗をはかり早期効果の発現を目指す	昭和39年度に事業着手し、平成10年度に再評価対象事業として一度、審査を経た事業であり、その後5年を経過して継続中の事業である。再評価の結果、事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。ただし、次の点について意見を付するものである。一、生物多様性の重要性に鑑み、海浜生物の保全は大きな課題である。したがって、今後、事業を実施する場合は可能な限り環境への配慮に努められたい。一、海岸事業に限らず全ての公共施設・機能の維持管理について、ライフサイクルコストの観点から適切な管理が重要である。したがって、早急に持続的な施設維持管理の仕組みについて具体的に構築するよう検討されたい。一、事業を進めるにあたっては、時間とコストの管理をより積極的に行うための経済比較、代替案の立案を検討しその内容を明確にされたい。
					【事業目的】 侵食が甚だしい海岸において人工リーフと養浜により波浪を減衰させ高潮や侵食による被害を防止する	H17	-	-				
海岸事業	29	道瀬地区建設海岸	紀伊長島町		【全体事業概要】 延長 430m 突堤工 183m 砂止潜堤工 228m 養浜工 84,500m	S49	1,172	73.5%	突堤工、砂止潜堤工の施行を終え平成11年度より養浜工に着手し今年度末には47,000m ³ 施行済みとなる予定 海岸に対する市民のニーズが多様化し、余暇志向や環境に対する関心が高まっている。紀伊長島町が東海地震に関する「地震防災対策強化地域」に指定された。	B / C = 1 4 . 3 7	引き続き事業の進捗をはかり早期効果の発現を目指す	昭和49年度に平成10年度に再評価対象事業として一度、審査を経た事業であり、その後5年を経過して継続中の事業である。再評価の結果、事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。ただし、次の点について意見を付するものである。一、生物多様性の重要性に鑑み、海浜生物の保全は大きな課題である。したがって、今後、事業を実施する場合は可能な限り環境への配慮に努められたい。一、海岸事業に限らず全ての公共施設・機能の維持管理について、ライフサイクルコストの観点から適切な管理が重要である。したがって、早急に持続的な施設維持管理の仕組みについて具体的に構築するよう検討されたい。一、事業を進めるにあたっては、時間とコストの管理をより積極的に行うための経済比較、代替案の立案を検討しその内容を明確にされたい。
					【事業目的】 養浜により波浪を減衰させ高潮による被害を防止すると共に海水浴等の海岸利用にも配慮する。	H18	-	-				

平成15年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					
						目標年	用地費	進捗率					
海岸事業	30	御浜地区建設海岸	御浜町		【全体事業概要】 延長 1,000m 人工リーフ 5基	S44	7,732	74.0%	人工リーフ5基の内3基が完成し、残り2基を順次施行を行う予定	七里御浜海岸は平成16年6月に「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録予定である	B / C = 2.08	引き続き事業の進捗をはかり早期効果の発現を目指す	昭和44年度に事業着手し、平成10年度に再評価対象事業として一度、審査を経た事業であり、その後5年を経過して継続中の事業である。再評価の結果、事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。ただし、次の点について意見を付するものである。一、七里御浜海岸の保全是、海浜の砂収支の観点から流域の総合土砂管理の概念が重要である。したがって、七里御浜を核として各事業は総合的な計画との関連づけを持つこと。一、海岸事業に限らず全ての公共施設・機能の維持管理について、ライフサイクルコストの観点から適切な管理が重要である。したがって、早急に持続的な施設維持管理の仕組みについて具体的に構築するよう検討されたい。一、事業を進めるにあたっては、時間とコストの管理をより積極的に行うための経済比較、代替案の立案を検討しその内容を明確にされたい。
						7,272	74.0%	【事業目的】 高波浪が来襲し侵食が甚だしい海岸において人工リーフにより波浪を減衰させ高潮、高波や侵食による被害を防止する					
海岸事業	31	井田地区建設海岸	紀宝町		【全体事業概要】 延長 2,696m 人工リーフ 14基	S58	15,062	70.0%	人工リーフ14基の内10基が完成し、残り4基を順次施行を行う予定	七里御浜海岸は平成16年6月に「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録予定である	B / C = 2.30	引き続き事業の進捗をはかり早期効果の発現を目指す	昭和58年度に事業着手し、平成10年度に再評価対象事業として一度、審査を経た事業であり、その後5年を経過して継続中の事業である。再評価の結果、事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。ただし、次の点について意見を付するものである。一、七里御浜海岸の保全是、海浜の砂収支の観点から流域の総合土砂管理の概念が重要である。したがって、七里御浜を核として各事業は総合的な計画との関連づけを持つこと。一、海岸事業に限らず全ての公共施設・機能の維持管理について、ライフサイクルコストの観点から適切な管理が重要である。したがって、早急に持続的な施設維持管理の仕組みについて具体的に構築するよう検討されたい。一、事業を進めるにあたっては、時間とコストの管理をより積極的に行うための経済比較、代替案の立案を検討しその内容を明確にされたい。
						14,148	70.0%	【事業目的】 高波浪が来襲し侵食が甚だしい海岸において人工リーフにより波浪を減衰させ高潮、高波や侵食による被害を防止する					

平成15年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（市町村事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
						採択年	総事業費	進捗率				
						目標年	工事費	進捗率				
漁業集落環境整備事業	103	錦地区	紀勢町		<p>【全体事業概要】 集落道 L = 50m 防火水槽 2基 避難所（用地整備） 2箇所</p>	H 9	192	5.2%	<p>事業実施に向けた測量調査を実施。</p> <p>当地区においても近隣地域同様に過疎化の傾向となっている。集落全体を活性化するため、集落道を整備し生活環境の利便性・安全性の向上を図る。また、近年、その発生が危惧されている地震津波災害に備えた防災安全施設等の整備が強く望まれている。</p>	<p>費用便益比 B / C = 1 . 4 9 再生路盤材の活用、建設資材の既製品等使用による施工の効率化によるコスト縮減を図る。</p>	<p>平成20年度までに事業を完了して、集落内の安全性、利便性の向上を図りたい。</p>	<p>103番については、平成9年度に事業着手し5年を経過して未着手の事業である。当事業は当初計画が変更され、大半が新規ともいえる項目になっているため本委員会の再評価になじまないと判断する。</p> <p>しかしながら、津波高潮に対する防災は、緊急を要するものであることから、集落道整備とあわせて事業継続を了承する。</p> <p>ただ、安全が優先されなければならない防災事業といえども、代替案との比較等を十分に行い、コスト縮減を図ることを求めるものである。</p> <p>また、当事業の遂行が長期にわたった滞っていたことを十分反省され、行政として速やかな対応をされることを強く望むものである。</p>
							111	9.0%				
							H 2 0	81				